

## 基町地区活性化計画（骨子案）

### 1 計画の目的等

#### (1) 計画の目的

基町地区は、全国的に例の少ない規模の市営住宅群を有する街であり、戦後の復興を支える大きな役割を果たしてきました。しかし、その後40年以上の歳月を経て、高齢化の進展など様々な地域課題が顕在化し、地域コミュニティの維持が困難な状況になっています。

こうした課題に対応していくため、平成25年7月に地区住民等と行政とが協働で基町住宅地区活性化計画（以下「活性化計画」という。）を策定し、活性化計画に基づく活性化の各種取組を実施しているところですが、活性化計画の策定から5年が経過し、地域課題がさらに緊迫化してきたことなどから、地区の活性化への機運がますます高まってきました。

このため、平成30年12月に、基町地区の将来を見据え、地区住民等と広島市とが共に目指す将来像を「多様な世代が共存する、住みやすく、にぎわいのあるまち」と位置付けた「将来を見据えた基町地区のまちづくりビジョン」（以下「ビジョン」という。）を地区住民の方々と共有しました。

このビジョンの実現に向けて必要な取組を進めていくため、活性化計画を改定し、より実効性のある新しい活性化計画を策定するものです。

#### (2) 計画の方針

基町地区は、市営住宅群と保育所、幼稚園、小学校などの公共施設だけで形成されていることや、その敷地が国有地であることなどから、まちづくりにおいては、行政が関わっていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、新しい活性化計画は、地区住民等と行政が協働して活性化策に取り組むことを基本的な考え方とします。

#### (3) 計画の期間

概ね30年先を展望し、短期的な取組を概ね5年間、中期的な取組を概ね10年間とします。

## 2 基町地区の現状と課題

基町地区では、少子高齢化に伴う地域コミュニティ活力の低下や商店街の衰退など多くの問題を抱えており、ここ数年で高齢化がさらに進展するなど、自治会の担い手が不足し、コミュニティの維持が困難な状況になっています。また、外国人が増加したことで、生活習慣の相違によるトラブルも発生しています。

基町地区を活性化するためには、こうした課題を解決する必要があります。

	平成25年4月	平成31年4月
高齢化率	43.3%	47.7%
基町小学校児童数	119人	89人
外国人比率	18.9%	22.2%

## 3 基町地区の将来像

### (1) 多様な世代が共存する基町

- ア 多様な世代が暮らすまち
- イ 教育環境が整い、子育てしやすいまち
- ウ 高齢者が安心して暮らせるまち

### (2) 住みやすい基町

- ア 潤いのある魅力的なまち
- イ 多様な文化が交流できるまち

### (3) にぎわいの基町

- ア 地域の交流が活発なまち

## 4 将来像の実現に向けた取組

●は重点取組

( )内は取組主体

※協働：行政と地域とが協働で取り組むもの

多様な世代が共存する基町	
<b>1 多様な世代が暮らすまち</b> 若年世帯や子育て世帯の入居を促進し、多様な世代で構成されたコミュニティを形成する。	
<b>若年世帯・子育て世帯の入居促進【重点項目】</b>	若年世帯・子育て世帯を増やし、多様な世代で構成されたコミュニティを形成する。 ●Uターン世帯や学生等の特例的入居の実施（協働） 目標：令和4年度までに特例的入居を55世帯とする。 ●若年・子育て世帯に限定した公募の実施（協働） 目標：毎年度50戸、入居者を若年・子育てに限定した公募を確実に実施する。 ○特例的入居者用の駐車場の確保（協働） ○多家族向けの住戸の確保（行政）
<b>入居者が活躍できる環境づくり</b>	新規入居者を新たな地域の一員として迎え入れ、地域で活躍できる環境を整備する。 ○若年世帯等向けボランティアバンクの仕組みづくり（協働） ○若年世帯等及び地区住民の交流会の実施（協働）
<b>2 教育環境が整い、子育てしやすいまち</b> 子どもの増加が見込まれる基町小学校において、地区住民の皆様の協力のもと、子どもたちが個に応じた確かな学力を身につけることができる教育環境を整備する。また、幼児教育・保育環境についても充実し、子どもたちが元気よく育ち、子育てしやすいまちにする。	
<b>基町小学校の教育の充実【重点項目】</b>	放課後学習を含めた学力補充の一層の充実や児童一人一人の習熟度に応じた少人数指導などによる丁寧な教育環境を整備する。 ●習熟度別指導の徹底（行政） 目標：検討中 ●放課後子供教室の実施（協働） 目標：検討中

<p>子育てしやすい環境づくり</p>	<p>小学校への円滑な接続、地域の子育て相談などの幼児教育・保育環境を充実させ、子育てしやすいまちにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園・保育園・小学校の連携（行政）</li> <li>○ほのぼの文庫基町の運用・活用（地域）</li> <li>○子どもたちの活動の場・居場所づくり（協働）</li> <li>○子どもの見守りと防犯体制の充実・強化（地域）</li> </ul>
<p><b>3 高齢者が安心して暮らせるまち</b>          宿泊機能を持つ介護事業所が整備され、親子近居できる環境が整った、高齢者が安心して暮らせるまちにする。</p>	
<p>高齢者を支える施設の整備  <b>【重点項目】</b></p>	<p>高齢者が基町地区で安心して暮らしていくことができるよう介護施設等の施設整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>介護事業所の導入（行政）</b>              目標：令和2年度までに小規模多機能型居宅介護事業所を開所する。</li> <li>○バリアフリー化への対応（行政）</li> <li>○高齢者等に配慮した住宅の整備（行政）</li> </ul>
<p>親子近居できる環境の整備</p>	<p>親世帯とその親を介護する子供世帯が近居できる環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○親子近居できる環境の整備（行政）</li> </ul>
<p>高齢者や地域が支え合う環境づくり</p>	<p>高齢者の見守りネットワークなどが充実した、高齢者の誰もが住み慣れた基町地区で安心して暮らせる、自助、共助、公助が揃った地域共生社会の実現に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災・避難体制の充実・強化（協働）</li> <li>○高齢者の見守り活動（協働）</li> <li>○多様な交流サロンの運営と連携（協働）</li> <li>○高齢者の生きがい活動・就労（協働）</li> <li>○高齢者の生活支援（協働）</li> </ul>

## 住みやすい基町

### 4 潤いのある魅力的なまち

旧太田川に面する県営基町住宅跡地を有効に活用し、中央公園に連なる水と緑を生かした広大な空間を確保し、潤いのある魅力的なまちにする。

#### 第17アパートの建替え 【重点項目】

現入居者に必要な住宅戸数を確保と若年世帯の入居を促進する仕組みの導入を図りながら、建替えを進める。

#### ●第17アパートの建替え（行政）

目標：検討中

#### 水と緑の空間の整備

旧太田川に面する県営基町住宅跡地と中央公園とが一体的につながる水と緑の空間を確保する。

○県営基町住宅跡地のオープンスペース化（協働）

### 5 多様な文化が交流できるまち

外国人と日本人とが、互いの生活習慣や文化の違いを認め合った上で理解し合い、尊重しながら交流するまちにする。

#### 外国人入居者のサポート 【重点項目】

市営住宅への入居時の説明や配布資料の充実、相談体制などを整備し、日本での生活習慣への理解を促す。

#### ●外国人市民相談員による生活相談窓口の開設（協働）

目標：相談により問題が解決した又は相談が有効であったと感じる相談者の割合を80%以上にする。

○生活ルールチラシの作成・配布（協働）

○入居時の説明や配布資料の充実（協働）

#### 外国人と日本人とが交流する場の創出

外国人と日本人とが、互いの文化の違いを認め合った上で理解し合い、尊重しながら交流するまちを目指す。

○外国人との交流の機会・場の創出（地域）

○多様な交流サロンの運営と連携（協働）【再掲】

にぎわいの基町	
<b>6 地域の交流が活発なまち</b> 基町ショッピングセンターを活用するなどして出会いや交流の場を創出し、魅力的でにぎわいのあるまちにする。	
<b>基町ショッピングセンターの活性化</b> <b>【重点項目】</b>	活性化につながる施設改修や入店者募集を進め、住民の皆様にとって利用しやすい店舗が揃い、景観面でも魅力的で、にぎわいのある施設にする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>出会いや交流の場としての活用（協働）</b>                目標：令和3年度までに出会いや交流の場として活用できるスペースの整備に着手する。</li> <li>●<b>屋上や通路等の共用部分の施設改修（行政）</b>                目標：令和3年度までに施設改修工事に着手する。</li> <li>●<b>活性化につながる入店者の募集（行政）</b>                目標：商店街組合等と協議の上、業種・営業時間帯等を指定した入店者募集を年2回以上行う。</li> </ul>
にぎわいづくり	地区内外の出会いや交流の場を整備するなど、にぎわいを創出する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「基町プロジェクト」の充実（協働）</li> <li>○多様な交流サロンの運営と連携（協働）【再掲】</li> <li>○若年世帯等及び地区住民の交流会の実施（協働）【再掲】</li> </ul>

## 5 計画の推進体制

計画を推進させるため、広島市職員と地区の代表者で構成する（仮称）基町地区活性化推進協議会（以下「推進協議会」という。）を設置し、計画に掲げた取組の進捗状況の確認や進行管理、また、新たな取組の検討などを行います。

なお、推進協議会は年1回以上開催するものとします。